

研究機関名：東北大学

| |
|---|
| 研究課題名 骨髄バンクドナーにおける術後悪心嘔吐の比較検討 |
| 研究期間 西暦 2014 年 7 月（倫理委員会承認後）～ 2014 年 9 月 |
| 対象材料 東北大学病院で骨髄バンクドナーとして全身麻酔下に骨髄採取術を受けた患者の診療録・麻酔記録より抽出された、年齢、性別、身長、体重、麻酔法、使用薬剤の種類と量、輸液量、骨髄採取量、尿量、術後嘔気嘔吐の有無、疼痛の有無のデータ。 |
| 上記材料の採取期間 西暦 2005 年 4 月～ 2014 年 6 月 |
| 意義、目的 骨髄バンクドナーは奉仕の精神による善意の健康成人であり、骨髄採取術の麻酔管理では安全面に加えて、周術期苦痛の軽減や早期社会復帰ができるように最大限の配慮が必要である。 骨髄バンクドナーにより安全で質の高い麻酔を提供するために、術後合併症として頻度の高い嘔気嘔吐の危険因子と抑制因子を検出する。 |
| 方法 2005 年 4 月から 2014 年 6 月の間に、東北大学病院で骨髄バンクドナーとして全身麻酔下に骨髄採取術を受けた患者の診療録・麻酔記録から、年齢、性別、身長、体重などの患者因子と、麻酔法、使用薬剤の種類と量、輸液量、骨髄採取量、尿量などの術中因子、術後嘔気嘔吐の有無や疼痛の有無の項目を抽出する。麻酔法や使用薬剤の種類・量で術後嘔気嘔吐の有無に差を認めるか、カイ 2 乗検定や分散分析、ロジスティックス回帰分析などで検討する。 抽出するデータには個人情報を含まない。使用したデータは統計学的解析終了後、速やかに破棄する予定である。 |
| 問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院 麻酔科医局 022-717-7321 担当者：金子美帆、大場瑠璃 |